



平成 23 年 2 月 9 日

各 位

会社名 中外鉱業株式会社
代表者名 代表取締役社長 安藤道明
(コード番号 1491 東証・大証二部)
問合せ先 IRセンター室長 桜庭 勲
(TEL. 03-3201-1541)

業績予想の修正及び特別利益の計上に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成 22 年 5 月 14 日に公表いたしました平成 23 年 3 月期通期(平成 22 年 4 月 1 日から平成 23 年 3 月 31 日)の業績予想を下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 連結業績予想数値の修正

(金額の単位 百万円)

平成 23 年 3 月期通期 連結業績予想数値の修正(平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	35,600	280	210	190	0円66銭
今回修正予想(B)	32,200	200	260	450	1円55銭
増減額(B-A)	3,400	480	470	260	-
増減率(%)	9.6	-	-	136.8	-
(ご参考) 前期実績 (平成 22 年 3 月期)	32,491	764	819	1,778	6円14銭

(2) 個別業績予想数値の修正

(金額の単位 百万円)

平成 23 年 3 月期通期 個別業績予想数値の修正(平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	33,600	130	80	70	0円24銭
今回修正予想(B)	30,300	390	430	430	1円48銭
増減額(B-A)	3,300	520	510	360	-
増減率(%)	9.8	-	-	514.3	-
(ご参考) 前期実績 (平成 22 年 3 月期)	31,700	624	666	1,791	6円18銭

2. 修正の理由

金・銀・プラチナ等の貴金属価格は上昇基調にあったことに加え、仕入れコストの削減が寄与し、業績は概ね順調に推移したものの、投資取引において運用損失を計上したことから、売上高、営業利益及び経常利益につきましては、前回見込を下回る見通しとなりました。他方、当期純利益につきましては、下記記載の特別利益を計上したことから、前回見込を上回る見通しとなりました。

3. 特別利益の計上及びその内容

当社は、回収可能性に懸念のある一部債権について、貸倒引当金を計上しておりましたが、当該債権すべての回収が終了したことから、係る一部債権の貸倒引当金戻入額 924 百万円を特別利益に計上いたしました。

注) 上記の予想は、発表日現在における入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上